

組織改編のお知らせ

博報堂は4月1日付で、以下の通り組織改編を行いますので、お知らせ申し上げます。

◇組織改編（4月1日付）

1. 組織改編のポイント

(1) これまでの当社組織を8つの領域に括る「統括」という組織階層の新設

- ①「統括」は、「営業統括」、「メディア・コンテンツ統括」、「MD統括」、「ビジネス開発統括」、「国際事業統括」、「経営戦略・グループ事業統括」、「リソースマネジメント統括」、「コーポレート統括」の8つから成る。
- ②「統括」を設置することで意思決定の構造を組織として明確にし、現場におけるスピーディな意思決定により戦略遂行力を高めると同時に、8つの「統括」の連携による全社、グループ全体の戦略構築力の強化をはかる。

(2) メディアビジネスと事業ビジネスの組織融合

競争力の高いメディア、コンテンツ商品の開発を促進するために、組織の融合による強化をはかる。具体的には、これまでの「メディアカンパニー」、「事業カンパニー」、「E B U（エンタテインメントビジネスユニット）」をカンパニーレベルで融合し、メディア領域とコンテンツ領域双方で高付加価値を生み出す体制を強化する。

2. 改編内容

前項により新設する8つの「統括」は、以下の通りとする。

(1) 「営業統括」

全社アカウント戦略の立案・遂行を統括し、現業戦略全体の立案・推進の統合を行なう「営業統括」を新設する。

(2) 「メディア・コンテンツ統括」

メディアビジネスと事業ビジネス、エンタテインメントビジネスを融合させ、相互にシナジーを発揮し付加価値を高め、博報堂の競争力を向上させるために「メディア・コンテンツ統括」を新設する。

(3) 「MD統括」

- ① 全社MD戦略の立案・遂行を統括する「MD統括」を新設する。
- ② インタラクティブカンパニーを廃止し、同カンパニー「インタラクティブ局」はMDUの部門とする。

(4) 「ビジネス開発統括」

- ① 競争優位を確立するために、研究開発・情報開発に関する計画の立案と推進に関し、基礎的な研究開発・情報開発から、ビジネス開発を目的としたシーズ開発、商品開発、市場開発までの一貫した開発体制を統合整備し「ビジネス開発統括」を新設する。
- ② 「ビジネス開発統括」は「博報堂生活総合研究所」、「市場開発局」、「研究開発局」で編成する。

(5) 「国際事業統括」

博報堂グループ全体の事業戦略およびグローバル戦略に基づき、アカウントサービス体制の拡充・整備のために、海外におけるグループ拠点事業の開発を推進し、その拠点を管轄・統括する「国際事業統括」を新設する。

(6) 「経営戦略・グループ事業統括」

- ① 博報堂グループの経営戦略、ならびにグループ企業の事業推進・管理を統括する「経営戦略・グループ事業統括」を新設する。
- ② 「経営戦略・グループ事業統括」は、「経営企画局」、「グループ事業総括局」、「デジタルビジネス推進室」の3部門で編成する。

(7) 「リソースマネジメント統括」

- ① 博報堂の経営資源をマネジメントし、グループにおける効率的な各種マネジメントサービスの提供を行う「リソースマネジメント統括」を新設する。
- ② 「リソースマネジメント統括」は「株式公開準備室」、「人事局」、「経理局」、「財務局」、「デジタルソリューションセンター」、「マネジメントサービスセンター」の6部門で編成する。

(8) 「コーポレート統括」

- ① 株式会社としてのコーポレートガバナンス体制の確立、並びにコンプライアンス体制を維持・強化するため、博報堂グループ全般に関するコーポレートレベルでの基本的なサービス提供、業務支援を行なう機能を統括する「コーポレート統括」を新設する。

②「コーポレート統括」は、「秘書室」、「広報室」、「総務局」、「法務室」の4部門で編成する。

◇役員および役員待遇の担務（4月1日付）

前項の組織改編に伴い、各「統括」の責任者として、下表の通り役員および役員待遇の担務を委嘱する。

担務	
営業統括担当	常務取締役 成田 純治
メディア・コンテンツ統括担当 (兼メディア・コンテンツカンパニー長)	専務取締役 佐藤 孝
MD統括担当 (兼MDU長)	役員待遇 宮崎 晋
ビジネス開発統括担当	取締役 杉本 秀雄
国際事業統括担当	常務取締役 神保 智一
経営戦略・グループ事業統括担当	取締役 戸田 裕一
リソースマネジメント統括担当	取締役 保科 伸夫
コーポレート統括担当	取締役 宮地 彰

以上

2002年3月11日
株式会社博報堂
広報室